



バスケットボール

ぜんこくしょうがいしゃ
全国障害者
たしかい
スポーツ大会

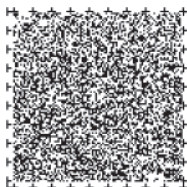
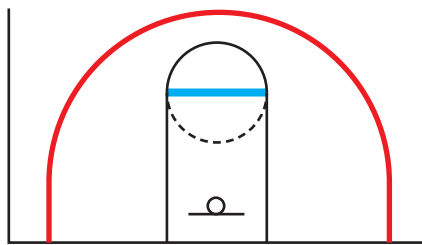
知的障がい者がプレーします。ルールは一般のバスケットボールと同じです。



ルール

1チーム5人でプレーし、ボールをゴールに入れると得点(1点、2点、3点)が入ります。

- 3点** …赤ラインの外からシュート
- 2点** …赤ラインの内からシュート
- 1点** …フリースロー
(図の青ラインよりシュート)



試合時間

10分間の競技(クォーター)を4回行います。

豆知識 ①

デフバスケットボール

聴覚障がい者がプレーするバスケットボール



競技中の走る足音やボールが跳ねる音、仲間やコーチの声などが聴こえにくい(または全く聴こえない)状態でプレーします。

特別なルールは特になく、一般のバスケットボールと同じルールです。

大会によっては、試合中、審判の声やブザーの音が鳴ったときに目立つ色の旗を振るフラッグマンを置き、目で見て状況が分かるように工夫する場合があります。



豆知識 ②

ツインバスケットボール

四肢麻痺の障がい者がプレーするバスケットボール

通常のゴールのほかに、もう1つ低いゴール(1m20cm)をセットし、その周囲に3m60cmの円(フリースローサークル)があります。

シュートする選手を円外と円内に区別し、障がいの程度に応じてシュート方法を工夫しています。シュートできる区域が3通りあり、区域ごとにヘアバンドの色を分けています。



障がいの程度	リング	シュート区域	ヘアバンド
重度	下	円内	赤
中度	下	円外	白
軽度	上	—	なし

手に障がいがある場合、通常のバスケットボールは滑ってしまうため、ボールはゴムボールを使用します。

